

# MARSH

## ニュースリリース

### 東日本太平洋沖地震:グローバルサプライチェーンに深刻な混乱の発生の予想

世界経済への影響が徐々に広がりを見せることが予想される

2011年3月18日 ロンドン

日本の製造業者に製品やサービスの供給を依存している、あるいは彼らに販売を行なっている多くの多国籍企業は、向こう数ヶ月にわたる重大なグローバルサプライチェーンの混乱を想定しなければなりません。そして企業は、東日本太平洋沖地震と津波によるグローバルサプライチェーンへの混乱の更なる拡大に対策を講じるべきであるとマーシュは警鐘を鳴らしています。

マーシュリスクコンサルティングのサプライチェーンリスクマネジメント部門を統括するゲーリー・リンチは次のように述べています。「日本での当面の優先順位は経済面ではなく社会面にあり、経済面への影響の多くは未だ明確になっていくわけではありません。このため、災害による世界経済への影響は徐々に明らかになっていくこととなるでしょう。この巨大災害によるサプライチェーンへの影響が予想される多国籍企業は、事業の混乱が長期化することを想定し、直ちに効果的な影響軽減策を構築すべきでしょう。」

製造施設の物理的な損壊よりもむしろ、この災害によるサプライチェーンの混乱の多くはインフラ、エネルギー、ユーティリティ、輸送手段そして高速道路あるいは港の利用制限などに関連して発生することとなるでしょう。

当面の大きな影響は、ハイテク業界、鉄鋼業界そして自動車業界に発生することとなるでしょうが、こうした業界に依存している医療機器、通信機器サプライヤー、自動車販売店、太陽光発電、造船、航空そして家庭用電化製品などの業界に瞬時に連鎖していくことでしょう。

リンチ氏は以下のようにも述べています。「今回の危機はグローバルサプライチェーンについてまだ十分に強化策を講じていない企業に対する更なる注意喚起となります。過去にサプライチェーン混乱による多大な損失を被ってきたにもかかわらず、未だに多くの国際的な企業が効果的とは言えない手法でサプライチェーンリスクを管理し続けています。」

「多国籍企業は、販売先、依存する供給業者そしてサプライチェーンの中に存在する重要な相互依存関係を含めて、自社のサプライチェーンを完全に理解することが必要です。効果的な計画の策定が時として企業が生き抜くか否かの分かれ目となることもあるでしょう。」

#### マーシュ・インクについて

保険仲介およびリスクアドバイザーの世界的リーディングカンパニーであるマーシュ・インク (Marsh Inc.) は、顧客とともに顧客の将来性を守り成功に導くための支援となる業界特有の革新的な解決手法を明確に示し、設計し、そして提供します。世界 100 カ国以上で 24,000 名の従

業員が連携して顧客にアドバイスを提供し、各種手配を行います。マーシュジャパン株式会社はマーシュ・インクの100%出資の日本法人です。マーシュはグローバル・プロフェッショナル・ファームであるマーシュ・アンド・マクレナン・カンパニーズ (Marsh & McLennan Companies, Inc.) の一員であり、マーシュの他、ガイカーペンター (リスクおよび再保険のスペシャリスト)、マーサー (人事関連コンサルタント)、そしてオリバーワイマン (経営コンサルタント) の各社を傘下に置き、総従業員数は51,000名、年間総収入は100億米ドル超、ニューヨーク、シカゴ、ロンドンの各証券取引所に上場しています (銘柄コード: MMC)。ツイッターは @Marsh\_Inc.

お問い合わせ

マーシュジャパン株式会社

高田 裕美子

03-5334-8547 (直通)

yumiko.takada@marsh.com